

金沢動物園のブロングホーン、 スーチョワンバーラルが死亡しました

金沢動物園で飼育していたブロングホーン、スーチョワンバーラルが死亡しましたので、お知らせします。

1 死亡したブロングホーンについて

- (1) 名 前 ブッチ
- (2) 性 別 オス
- (3) 年 齢 15 才
(平成 14 年 5 月 29 日生まれ)
- (4) 死亡日 平成 29 年 9 月 11 日 (月)
8 時 30 分死亡確認

(5) 死 因 調査中

(6) プロフィールと経過

ブッチは、サンディエゴ動物園との動物交換で平成 14 年 11 月 28 日に当園に来園しました。人工哺育で育てられたため、人によくなついていました。

若いときは力も強く、大きな丸太を角で押し、モートに落とすこともありましたが、平成 29 年 8 月下旬からは起立が困難となり非展示とし、寝室内で過ごしていました。

ブッチは、国内で飼育されていた最後の個体で、当園でこれまで飼育されていたブロングホーンの中で最高齢でした。



ブロングホーンの「ブッチ」

2 死亡したスーチョワンバーラルについて

- (1) 名 前 ズーミィ
- (2) 性 別 オス
- (3) 年 齢 10 才 (平成 19 年 7 月 7 日生まれ)
- (4) 死亡日 平成 29 年 9 月 11 日 (月)
8 時 30 分死亡確認

(5) 死 因 調査中

(6) プロフィールと経過

当園で誕生し大きな角が特徴的だったズーミィは、スーチョワンバーラルの「ズーミィ」飼育係員に自ら近寄ってくる友好的な性格でした。

白血病の所見が見られたことから、平成 29 年 9 月上旬から抗ガン剤による治療を行っていました。



金沢動物園



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

金沢動物園 園長 原 久美子 Tel.045-783-9400

【参考資料】

1 プロングホーンについて

和名	プロングホーン
学名	<i>Antilocapra americana</i>
英名	Pronghorn
分類	鯨偶蹄目 プロングホーン科
分布	北アメリカ西部
生態	砂漠や乾燥した草原に、群れで生息。俊足の持ち主で、最高時速は80kmに達し、陸上ではチーターに次ぐ速さで走ることができる。好奇心が強く、動くものや見慣れないものを見つけると近づいて調べる。角は、とがったかぎ状で、鞘の部分だけが毎年生え替わるという他の動物には見られない珍しい特徴を持つ。
国内飼育頭数	0頭
当園飼育頭数	0頭

2 スーチョワンバーラルについて

和名	スーチョワンバーラル
学名	<i>Pseudois nayaur szechuanensis</i>
英名	Chinese Bharal
分類	鯨偶蹄目 ウシ科
分布	中国の四川省、陝西省等の山岳地帯
生態	「スーチョワン」とは、生息地の四川省の英語読み。中国名を「岩羊」といい、その名の通り標高3,000m以上の起伏の激しい山岳地帯に生息する。優れた跳躍力とバランス感覚を持ち、危険を察知すると外敵が近づけない高みへと駆け登る。 オスの体長は115～165cm、体重は25～80kg。メスは一回り小さく体重は40kg前後。体色は灰褐色で、足に白黒の模様がある。両性とも後方に湾曲し、開いた角をもつ。オスの角は大きく横に張りだしており、成長した角は65～80cmに達する。
国内飼育頭数	3園館32頭（オス15・メス17）※2017年7月5日時点 群馬サファリパーク1頭（メス1頭） 姫路セントラルパーク19頭（オス9頭、メス10頭） 金沢動物園12頭（オス6頭、メス6頭）
当園飼育頭数	11頭（オス5頭、メス6頭）※2017年9月12日時点

3 金沢動物園について

- ◆入園料：一般500円、高校生・中人300円、小・中学生200円、小学生未満無料
（毎週土曜日高校生以下無料）
※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 10月無休
- ◆交通：京浜急行「金沢文庫」駅下車、西口バス乗場1番でバスに乗車
①「野村住宅センター」行きバス「夏山坂上」下車徒歩6分
②急行「金沢動物園」行きバスで10分（土・日・祝のみ）
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/>
- ◆住所：横浜市金沢区釜利谷東5-15-1
- ◆問合せ先：045-783-9100